

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話を届けます～

9/15
(金)



火の用心を呼びかけ

保育所すみれ組（年長）の子どもたちが消防署を訪れ、放水体験をしました。

消防署ではその他に消防車や救急車を見学し、暮らしを守る仕事に触れました。

その後は図書館で防火DVDを鑑賞し、ホクレンショップ前でチラシを配りながら「火の用心」を呼びかけました。



9/2
(土)

ドキドキクラブ 蘭留遠足

わっさむドキドキクラブのメンバーは和寒駅から蘭留駅までJRで移動し、その後、塩狩駅まで約8kmを遠足しました。中には初めてのJR体験になった子もいましたが、その後の少し長い距離も弱音を吐くことなく、遠足を楽しんでいました。



9/15
(金)

100歳のお祝いに記念品を贈呈

9月15日の「老人の日」記念事業として、今年度100歳を迎えられる次の3名の方に、内閣総理大臣からの祝状と記念品の銀杯を、奥山町長から贈呈しました。

西町 中森ハナ子さん 三笠 松原友枝さん
三笠 大石 すよさん

(写真は中森ハナ子さん)



9/15
(金)

大迫力！ガールズブラスバンド

公民館恵み野ホールで女性10名によるブラスバンド「東京ブラススタイル」コンサートが開催されました。

ジブリ作品の曲やアニメソングを中心に、トランペットやサクソフォーンの迫力ある演奏とパフォーマンスで大勢の観客を魅了していました。



開校70周年記念式典

和寒中学校が開校70周年を迎え、卒業生で組織した協賛会の主催で記念式典が開催されました。

式典には在校生やOBが出席し、歴代校長、前同窓会長、歴代PTA会長に感謝状が贈呈されました。

その他、協賛会からは初代校舎の復元模型が中学校に贈呈され、今後は記念誌の発行が予定されています。



健康長寿を祝って敬老会

芳生苑入所者14名を対象に、第41回芳生苑敬老会が開催されました。

敬老会では、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)、大樹(100歳以上)の皆さんに奥山町長から祝金が、太田清家族会会長から記念品が贈呈され、大勢でお祝いしました。

式典のあとは芳生苑の職員によりアトラクションが催され、踊りや演奏などで集まった入所者や家族を楽しませていました。



和寒中学校 学校祭

開校70周年記念 第68回和寒中学校学校祭が開催されました。

今年は『祭～いつも以上に笑顔な自分を～』をテーマに、節目の年にふさわしい学校祭にしようという生徒の皆さんの熱意が伝わる素晴らしい発表が行われました。

意見発表、学級ステージ発表(演劇)、合唱コンクール、音楽部発表、生徒会企画芸能発表が行われ、観覧に訪れた保護者や地域の方々の大きな拍手や声援で盛り上がっていました。



和寒町ソフトテニス大会

和寒町ソフトテニス協会(加藤昌一会長)主催の第26回和寒町ソフトテニス大会が総合体育館南側のテニスコートで開催され、全道各地から選手が集まり、熱戦が繰り広げられました。

大会には40組80名の選手が参加し、C級女子の部で和寒の諸戸里奈・大塚沙知ペアが見事優勝しました。



9/26
(火)

上川管内町村老人福祉大会

公民館で上川管内町村老人福祉大会（上川地区老人クラブ連合会、和寒町老人クラブ連合会共催）が開催されました。

この大会は、老人クラブ活動に功績のあった方々を表彰するとともに、高齢者の生きがいづくり、健康増進、介護予防のため、管内町村の持ち回りで毎年開催されています。

今年は、和寒町から佐藤勲さんが功労者表彰を受賞されました。

また、元和寒中学校校長の鈴木信人さんの講演や、各町村の代表者による芸能発表も行われ、約200名の参加者は思いきり楽しみ、交流を深めていました。



9/21
(木)

和寒産野菜で交通安全をPR

和寒町交通安全協会（浜田義昭会長）が、秋の全国交通安全運動期間に合わせ、国道沿いの交流施設ひだまり前で街頭啓発を行いました。

町内の交通安全関係団体や土別警察署の警察官など約50名による旗波の他、交通安全少年隊がドライバーに交通安全へのメッセージが書かれた手紙や和寒町でとれた野菜を手渡し、安全運転を呼びかけていました。



9/28
(木)

一日警察署長が来町

土別警察署の一日署長に就任された、北海道観光大使でテレビのレポーターもつとめる青山千景さんが和寒町を訪れ、交通安全関係団体の皆さんが集まって歓迎しました。

青山さんからは来町に際し、夜光反射材をいただき、奥山町長からは御礼に特産品詰め合わせを手渡しました。



9/22
(金)

コープさっぽろと見守り協定を締結

一人暮らしの高齢者世帯等の見守りをより細かく実施するため、生活協同組合コープさっぽろと町は、地域見守り活動に関する協定を締結しました。

コープさっぽろのドライバーは全員が救急救命士の資格を持ち、配達に使用する車の約3割にはAEDが備えられているそうです。

協定に際しコープさっぽろの中島専務理事からは「単に物を届けるだけでなく、高齢化が進む地域の中で役に立てれば」と話していました。



駅をきれいに

町内の女性サークル楽縁クラブ（今田八千代代表、会員10名）が、JR和寒駅の清掃ボランティア活動を行いました。

この活動は2年前から年1回行われており、「駅は和寒町の顔。少しでもきれいにして、気持ちよく使ってもらえれば」と、会員同士で持ち寄った清掃用具で隅々まで掃除されていました。

同クラブは、定期的集まる例会の他、小中学校や芳生苑に雑巾を寄贈するなど、積極的に地域への奉仕活動を実施しています。



新就業者のつどい&青年のつどい

What's some mosh!!

新就業者のつどいは今年度新たに和寒で働きはじめた方を中心に、学習と交流を進める事業で青年のつどい「わっさもっしゅ」のメンバーも参加し、北海学園大学経済学部准教授 宇土 至心（うと まこと）氏による「お金の教養講座」を通して、お金の使い方や貯め方、運用の仕方を学びました。

参加者からは「普段学ぶ機会のないお金の話を聞くことができて良かった」との声が聞こえました。



使える品を有効利用

クリーンタウンわっさむ主催のリサイクルまつりが、今年も東丘のリサイクルセンターで開催されました。

ところ狭しと並べられた遊休品コーナーは決められた時間までに入札する方式で、ソファなど人気の品には多くの入札があり、じゃんけんによる熱い争奪戦が繰り広げられました。

他にも会場ではフリーマーケットやエコ商品の抽選会、廃油石けんの販売、コーヒー牛乳の無料配布が行われ、約200名の来場者を楽しませていました。



『尾木ママ流 共感子育て』

公民館で、テレビなどで活躍している、尾木直樹先生（教育評論家・法政大学特任教授）による芸術文化講演会が開催されました。

これまでの教育現場での経験や、最新の脳科学によって変わっていく子育てについてお話しいただき、「小学校や中学校が1校しか無い町は、子どもを大切にできるから良いのよ」など、悪いところを見つけるのではなく、良いところを探ることが子育てにも重要であると話され、集まった約250名の観客は、楽しく子育てへの理解を深めていました。

本年度は、教育力向上講演会とあわせての開催となりました。



10/11
(水)

地域の食材を寄贈

北ひびき農業協同組合（西本護代表理事組合長）から、学校給食に使ってほしいと地元の農産物をいただきました。

西本組合長は「今年は昨年のような大きな被害もなく、平年並みに収穫が期待できそうです」と話し、「子どもたちの食育に役立ててください」と、奥山町長に目録が手渡されました。

和寒町にはお米80kg、馬鈴薯40kg、玉ねぎ40kg、南瓜10kgが寄贈され、今後子どもたちの給食に使用されます。



10/7
(土)

未来のふるさとに緑を

三笠山で毎年実施している町民植樹祭を、今年も開催しました。

今年もニトリ北海道応援基金の助成を受け、和光クリーン株式会社から提供されたエゾヤマザクラなど38本を植樹しました。

集まった約120名は、北海道指導林家の吉田昭八さんから指導を受け、大きく育つよう願いを込めてていねいに作業をしていました。



10/11
(水)

1市3町老人クラブリーダー研修会

公民館恵み野ホールで、士別市、剣淵町、幌加内町、和寒町の老人クラブ会員が集まり、研修会が開催されました。

毎年持ち回りで和寒町老人クラブ連合会（窪田智弘会長）が当番となった今年の研修会では、金剛寺の茶円宥正住職による「合掌の心」、町体育協会の渡邊道太郎事務局長による軽運動、和寒駐在所の長井健所長と藤村将士巡查長による「特殊詐欺について」の3本の講演を受けました。

昼食後には芸能発表が行われ、参加した約200名の会員は充実した1日を過ごしました。



10/7
(土)

海上自衛隊大湊音楽隊コンサート

海上自衛隊大湊音楽隊によるコンサートが、公民館恵み野ホールで行われました。

コンサートは2部構成で、1部は重厚なクラシック音楽、2部は映画やアニメでおなじみの楽しい楽曲が演奏されました。

大湊音楽隊は3年ぶりの来町で、今年も非常に質の高い演奏を披露し、会場を埋め尽くす約300名の聴衆を魅了していました。